

国連憲章に違反するロシア軍はウクライナより撤退を 禁止条約を力に、日本政府に禁止条約の署名・批准を

左 わかやま市民生協の前田さん
右 久保浩二市会議員



左は木村副市長 右は岡田正和弁護士

2022年原水爆禁止国民平和大行進

田辺市集会・スタンディングと富田町集会

5月28日(土)晴れ。田辺市の集会です。西牟婁最終です。集会前に、田辺市原水協津村光男さんと西牟婁原水協の檜山さん、県事務局で総務課を訪問。市長記名入ペナントと協賛金を受け取ります。

田辺市集会は、津村光男さんが進行します。主催者挨拶です。岡田正和弁護士は「ウクライナに侵攻したロシアを念頭に『核兵器使用の現実的リスクが高まりつつある現在の国際状況であればこそ、唯一の被爆国として全世界の核兵器廃絶に向けて、早期に同条約に署名・批准すべき』であると日弁連会長声明を紹介しました。真砂田辺市長メッセージ「ロシア軍によるウクライナへの軍事侵略では、人の命が失われる人道危機に加え、核兵器使用の威嚇がなされており、人々の生命や生活が破壊されており、真に痛ましいことであり、一日も早く世界平和が訪れることを願っております」と、木村晃和副市長が読み上げました。続いて、北田健治田辺市議会議長からのメッセージは、久保浩二田辺市会議員が代読。又、久保市議は「アメリカと核共有し日本を守ろうという話もされている。唯一の戦争被爆国の政治家としては許しがたい発言です。このアジアでもロシアも含めて、憲法9条を持った日本として、『武力対武力』で対抗するのではなく、アジア10カか国でやっている年1000回の対話で、紛争を戦争にさせないよう話し合いを持っていくべき」と連帯の挨拶をします。最後、わかやま市民生協の前田さんが決意表明します。集会参加は22人でした。集会後、市庁舎南西の裁判所前交差点でスタンディングです。田辺市庁舎前より宣伝カーが、スタンディング参加者を激励します。

明日、5月30日月曜日、古座川町、串本町となります。

県原水協事務局

